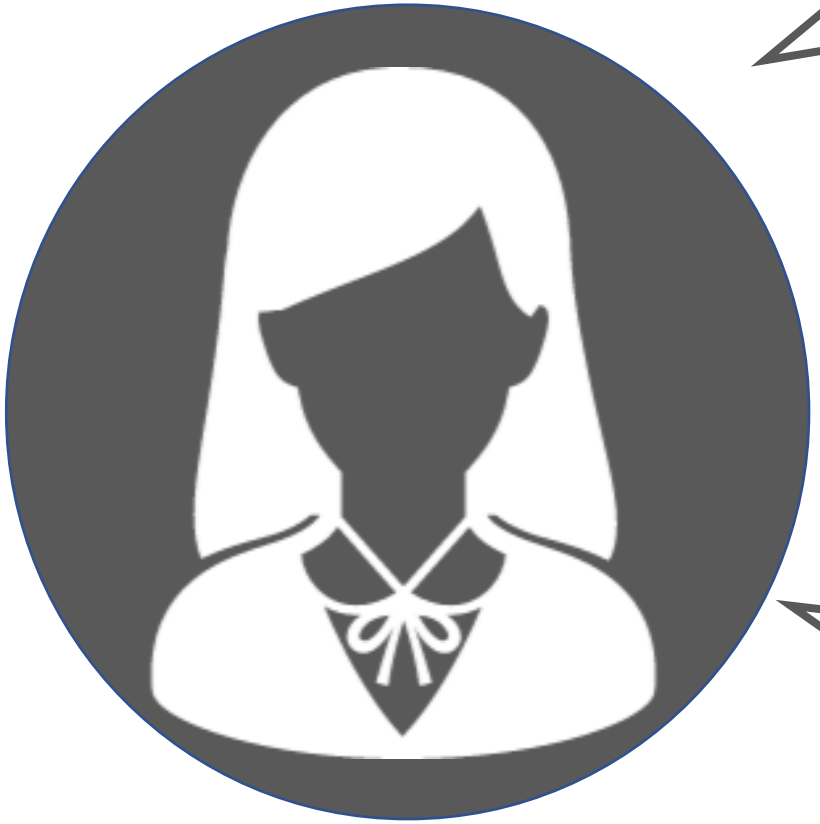
助け合いの街
“ナゴヤ”へ

自己紹介



高校1年　川村美湖

地域に貢献する仕事
「まちづくり」

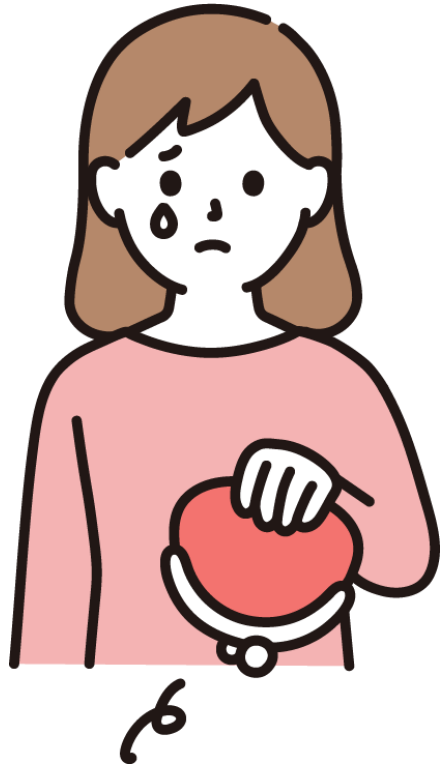
助け合いの街“ナゴヤ”へ

生理の貧困の解決に
街全体で取り組みたい！

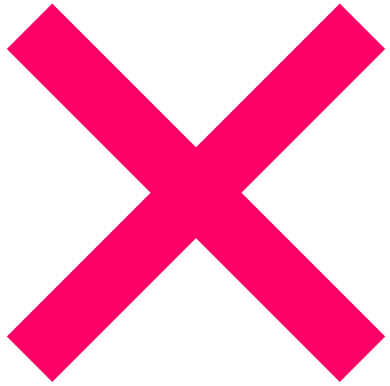
“生理の貧困”
を知っていますか？

【生理の貧困】とは…？

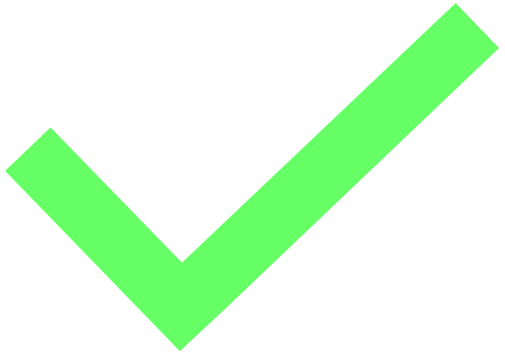
経済的な事情で、生理用品
を満足に入手できない状況



→コロナの感染拡大によって深刻化



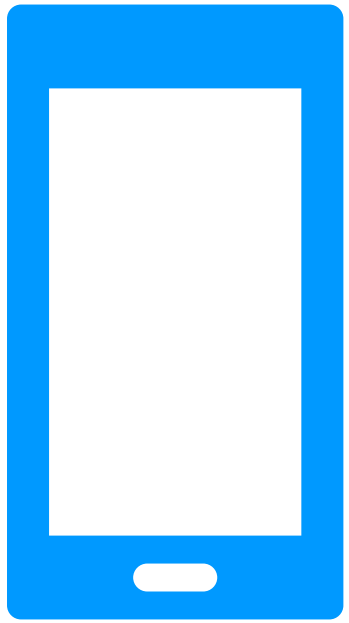
生理だから諦める…



頼れる！大丈夫！

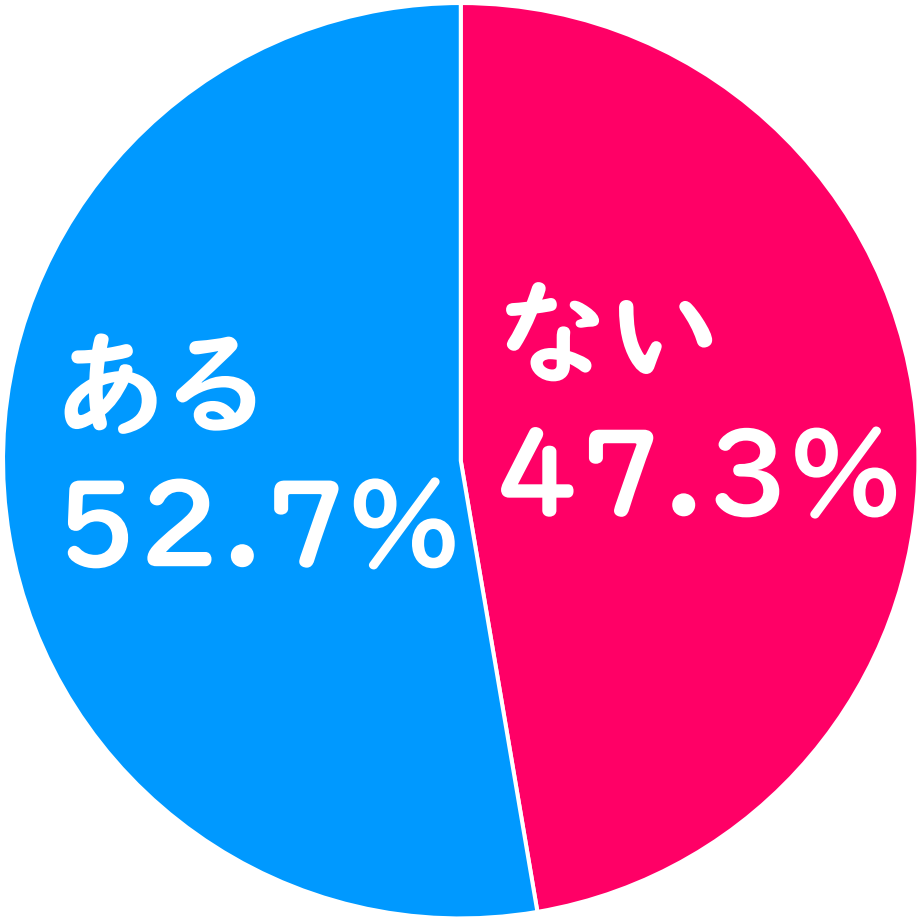
助け合える街・社会へ

【Google Form による
アンケートを実施】



112名が回答
（男性：25名/女性：85名）

【「生理の貧困」という言葉を聞いたことがありますか？】



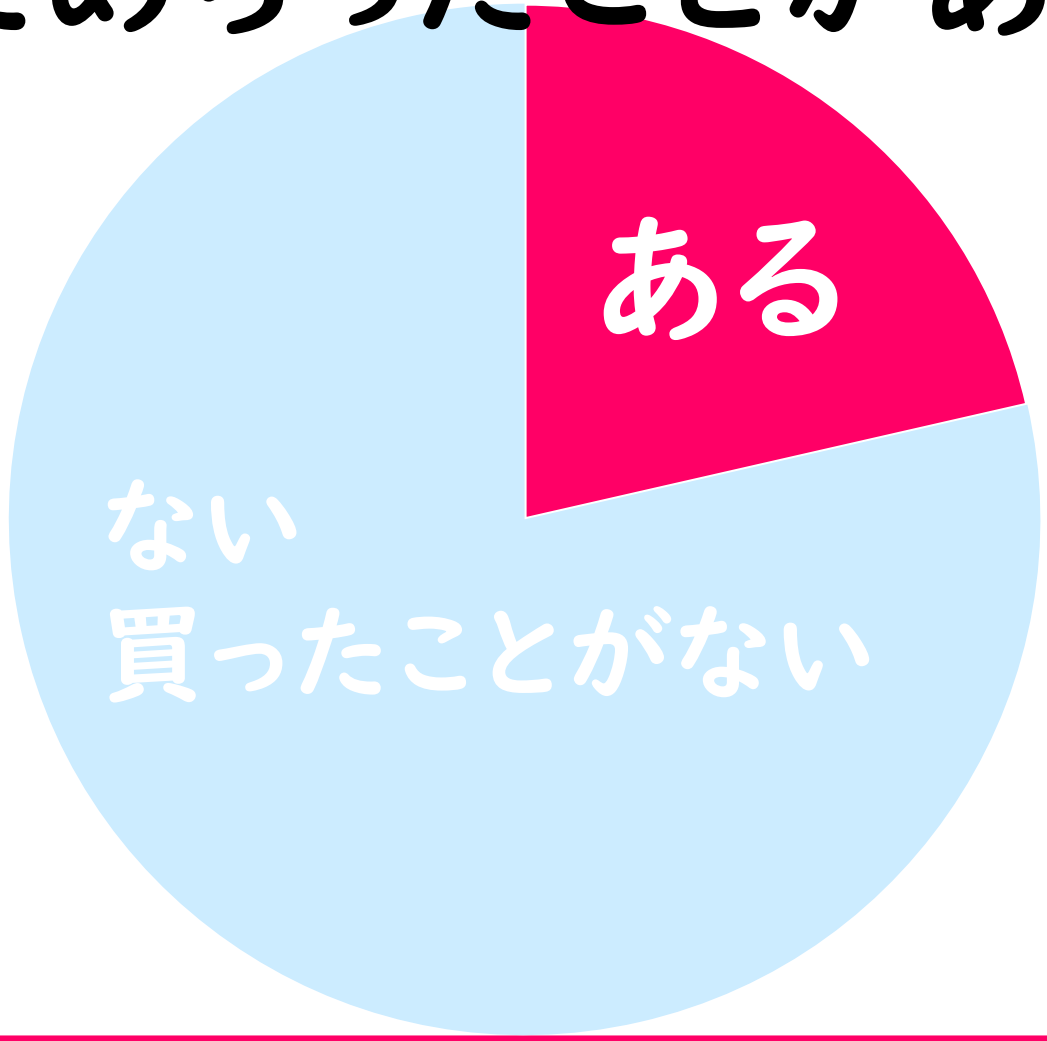
生々しい。

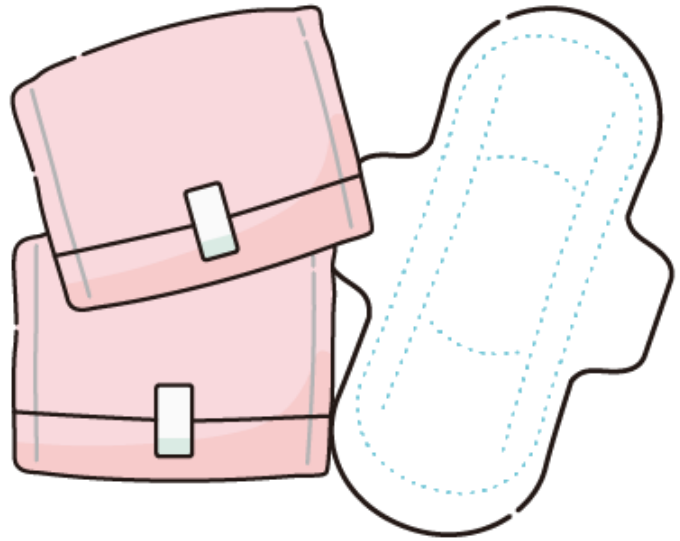
40代/女性

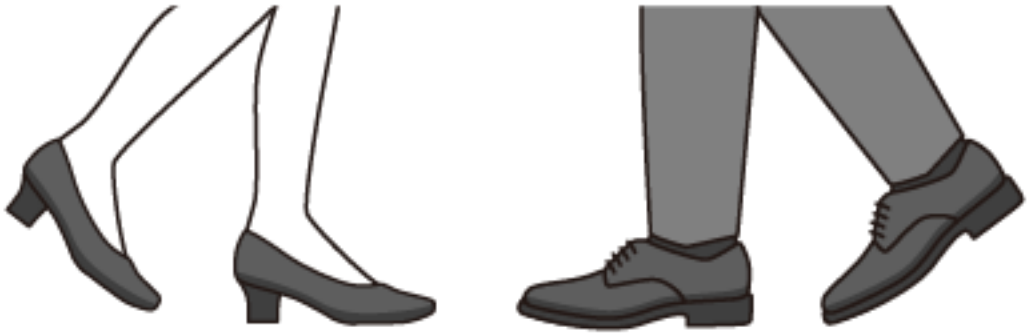
生理用品は生理1回につき
千円もかからない。なので
理解できない。　50代/女性

男性からの理解が
あまりない。10代/女性

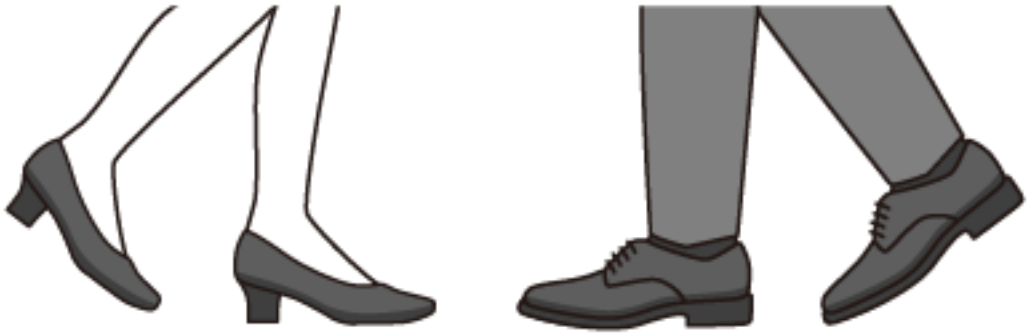
【生理用品を買うこと
をためらったことがありますか？】



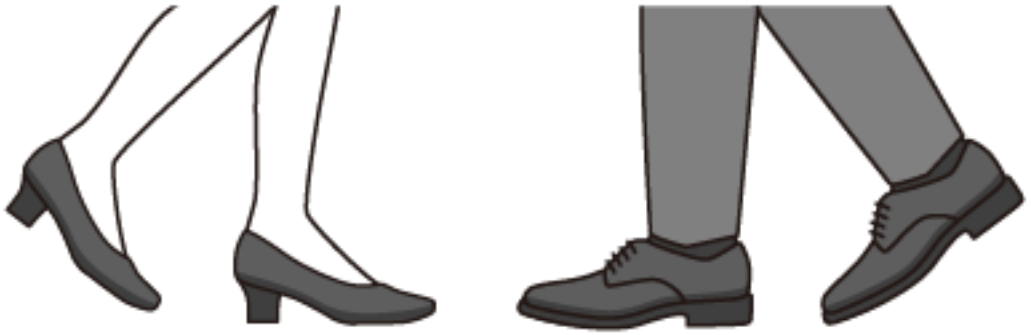




店員が男性だったとき



友達にばったり
会ったら気まずい



お小遣いで買うくらいだったら
トイレットペーパーで代用したい

＜偏見＞
＜タブー視＞

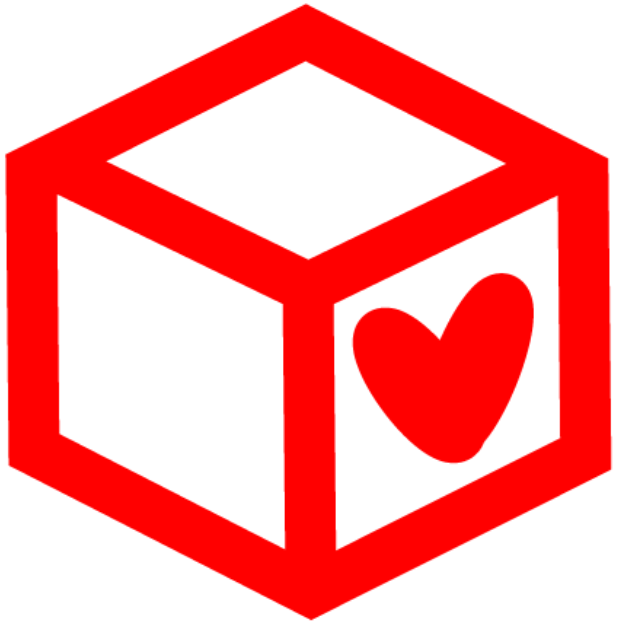
【インタビュー 】

名古屋市スポーツ市民局
男女平等参画推進室

ナゴ女＊
つながーる

女性のみが利用できる。

パンやお菓子、生理用品を無料で受け取ることが出来る。



REDBOXJAPAN

学校や地方自治体と連携し、
生理用品の寄付を行う
チャリティー団体

「生理の貧困」について一緒に
考える仲間を募集

→“はーとふる”結成！

私
We Are はーとふる！

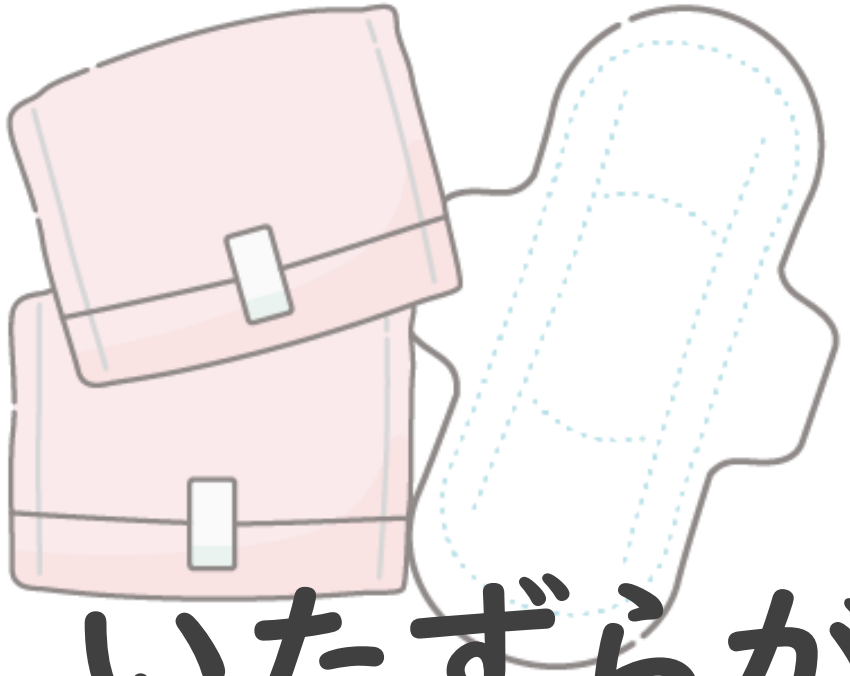
【活動について】

▷目的
生理の貧困／タブー視や偏見について考える。

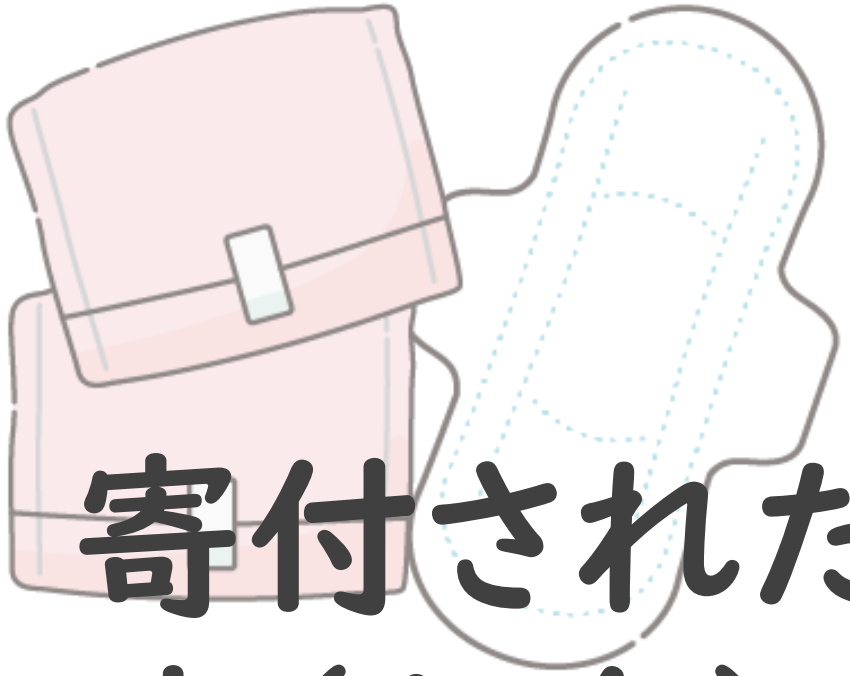
▷提案
Red Box Japanと連携して、学校のトイレに生理用品を置く

【提案の結果…】

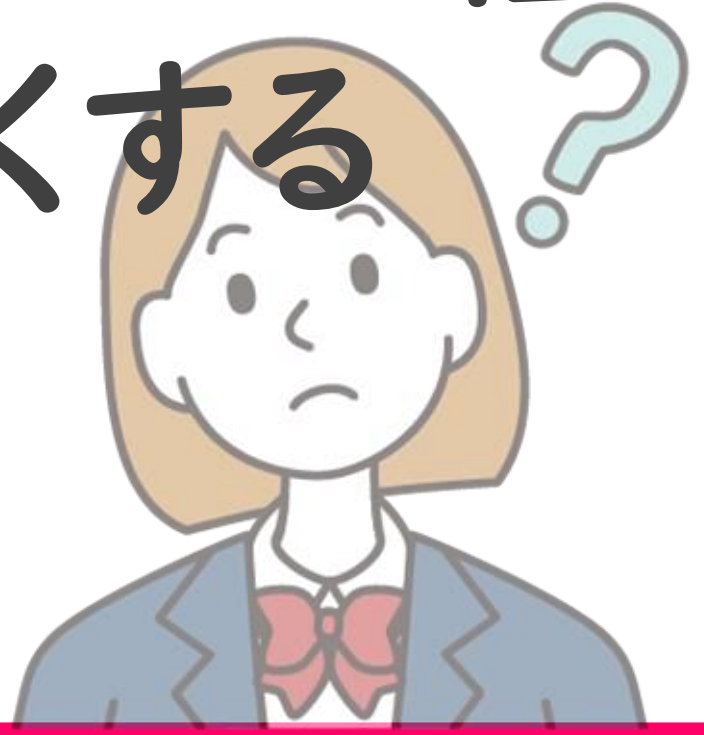
連携は面白そう。
でも、トイレに置くのは厳しい…



いたずらが起こるかもしれない



寄付されたものを使うことは経済（お金）の流れを悪くする



【緊急告知】

“はーとふる”として
生理の貧困について
プレゼンします！

第２部　子どもたちの声を聴く

名古屋大学教育学部附属中・高等学校
生徒らによるプレゼンテーション

これからの世界・日本を担う子どもたちが、環境や貧困、平和など社会のさまざまな問題・課題をどのように捉え、考え、行動に移そうとしているのかについて、４つのグループがプレゼンします。

中学生・高校生・留学生など、学年・国境を越えてグループを作り、自分たちが今、感じていることや思っていること、考えていることについて語ります。

check

テーマ①「心の中に平和のとりでを」
テーマ②「日本留学中に感じた日本の経済について」
テーマ③「生理の貧困について」
テーマ④「エジプトで開催されたCOP27に参加して」

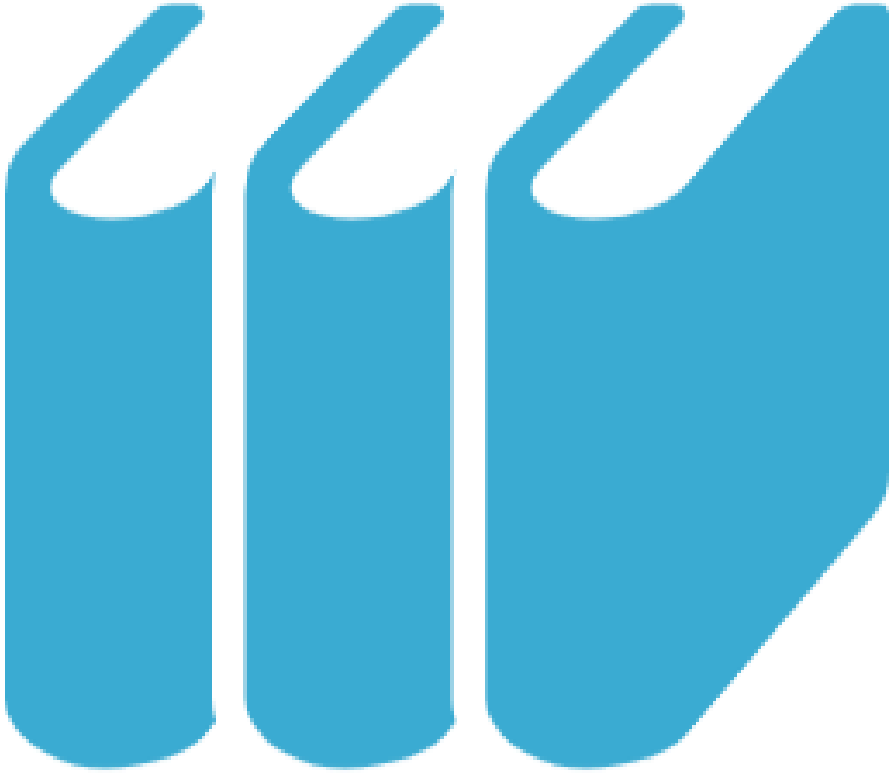
名古屋市への提案

1.Red Box Japanとの連携

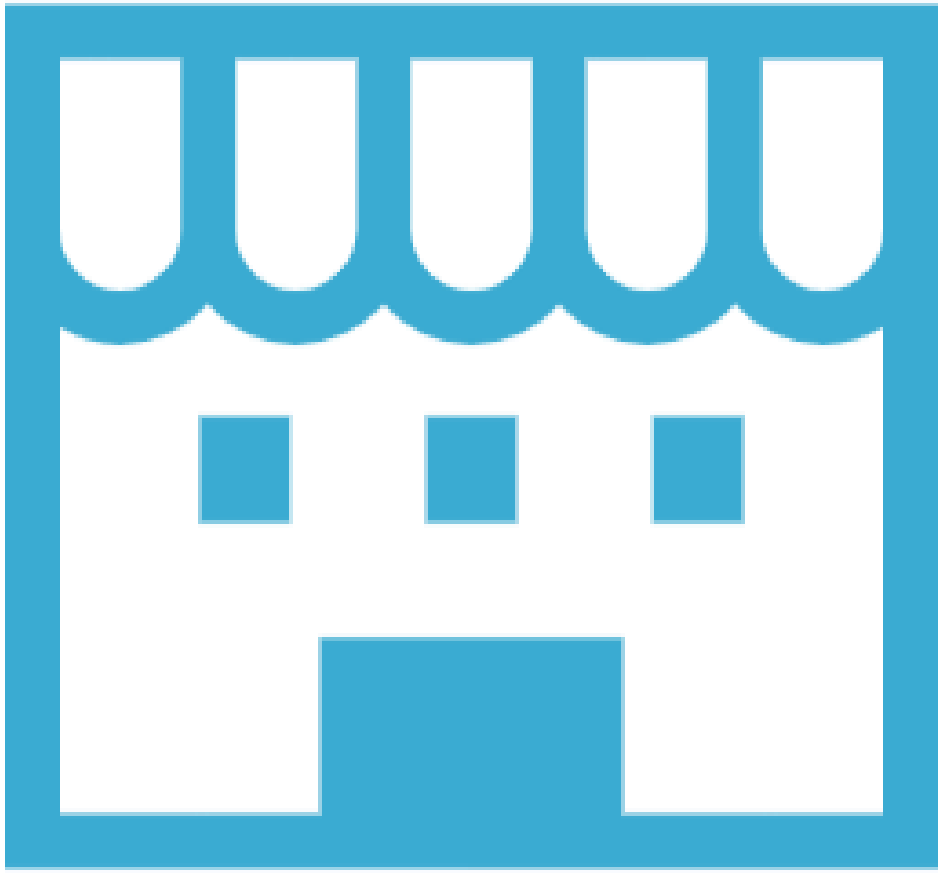
連携することで…

学校での生理用品設置がスピディーに

必要としている人に
生理用品を1秒でも早く



図書館



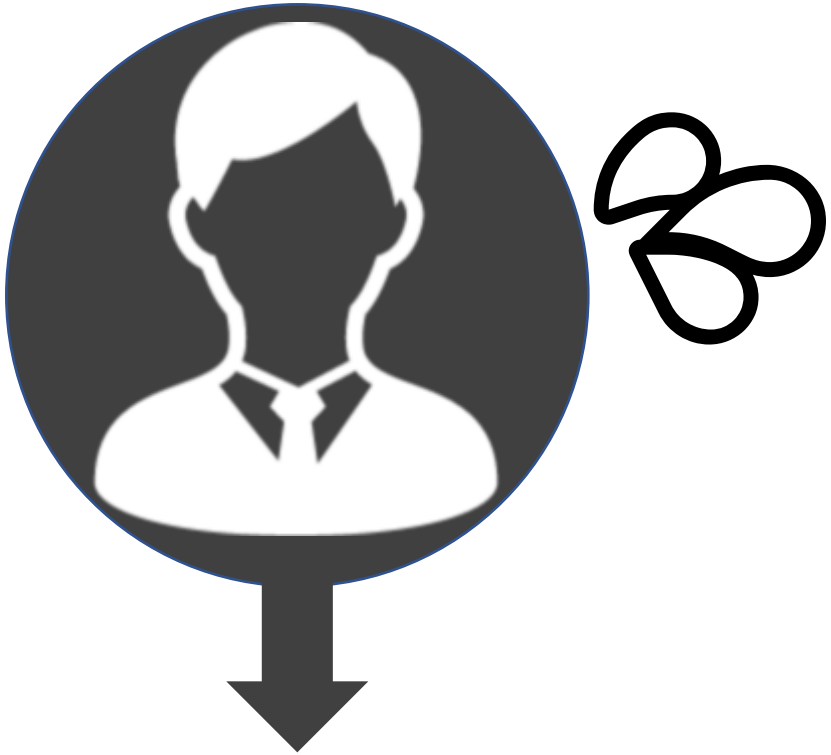
商店

生理用品がどこでも手に入る安心

活動範囲の拡大👣

2. 男性も利用できる
セーフスペースの運営

タブー視

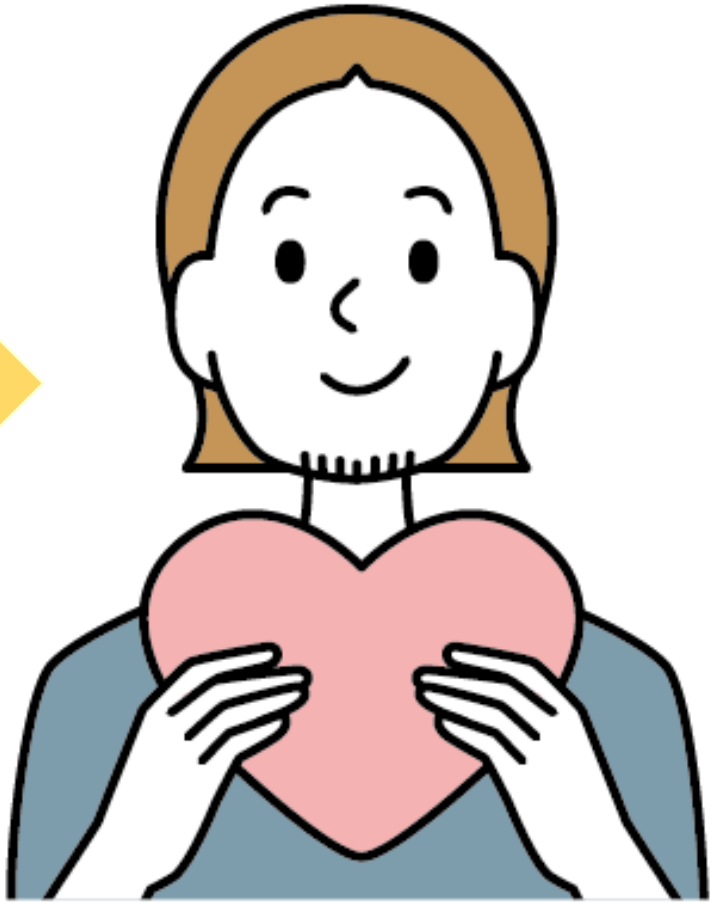


助けづらい

タブー視が悪循環を
生み出している

相談しやすい

助けやすい



3. 性教育の改善

恥ずかしくない！

隠さない！

相手を守るため！

教育の力で偏見やタブー視をなくしたい

【提案まとめ】

1. Red Box Japanとの連携
2. 男性も利用できるセーフスペースの運営
3. 性教育の改善

ありがとうございました！